

迫力ある達人技に感嘆

市ノ後公民館で居合道と肥後神楽の演舞

10月13日から19日にかけてチェコの日本大使を表敬訪問し、「居合道」を披露した中川欽詞さん(広崎1町内)と肥後神楽の演舞と日本習字一日書道教室を開催した松野國策さん(市ノ後)らが、地元益城の人たちにもその古武道や伝統芸能に親しんでもらおうと、12月22日、市ノ後公民館でその技を披露しました。

木山神宮肥後神楽を学び、70年になるという松野さんは「今後もこの伝統を引き継いでいきたい」と語り、中川流居合道の青竹の試し切りや「寶劍の舞」などの肥後神楽を間近で見た観客は、「うわあ。凄い」と口々に歓声を上げ、その迫力に驚きを隠せない様子でした。



1kgを超す日本刀で寶劍の舞を披露する松野さん



J A旧飯野事業所前で7区原田秀哉選手からたすきを受け取るアンカ一の緒方健太郎選手(写真右)

新たなコースで健脚を競う

第36回上益城郡町対抗駅伝大会

今大会からコースが変わった第36回上益城郡町対抗駅伝大会が12月18日、御船町役場をスタートし益城町陸上競技場をゴールとする8区間34.6kmで開催されました。大会には、各町から8チーム(本町からは2チーム)が出場。本町はAチームが2位、Bチームが6位に入りました。チームを4位から2位に引き上げた7区(はらだしゅうや)の原田秀哉選手は「地元の声援が大きく走りやすかった」と新たなコースの感想を述べました。

- 主な成績
- ①山都町A 1時間54分38秒
 - ②益城町A 1時間56分9秒
 - ③御船町 1時間56分25秒
- 区間賞
- 2区 中村流星(九州学院高2年)
 - 7区 原田秀哉(鎮西高2年)

憧れのプロ野球選手に学ぶ

第9回益城町少年野球教室

「益城町からプロ野球選手を」を合言葉に12月26日、町少年野球教室が町民グラウンドで開催されました。



森福選手のピッチング指導を真剣に聞き入りました

これは、町内の少年野球の技術向上とプロ野球選手との親睦と交流が目的で、福岡ソフトバンクホークスの協力を得ながら、町教育委員会と町野球連盟(森上祐一会長の協賛)で毎年行われています。今回は、ホークスから森福允彦選手(投手)、立岡宗一郎選手(内野手)、浜名千広コーチ、スコアラースタッフなど5人を講師として招き、町内の小中学校の野球部員やクラブチームの選手など約150人が指導を受けました。子どもたちは各ポジションに分かれ、投手

はボールの握り方や腕の振り方、投球動作のチェックを受け、捕手はミットの構え方、セカンドへの送球動作などを学び、内外野手はノックを受けながら基本的な捕球動作などの指導を受けました。最後は、各コーチが子どもたち一人一人にバッティングを指導。憧れの野球選手のアドバイスを子どもたちは真剣な表情で聞き入っていました。